

清新の気

学 校 だ よ り
No. 3

大津市立栗津中学校
平成29年6月13日発行
全校生徒数：512名

可能性への挑戦 校長 川辺 勉

中学生の活躍が目立っています。先日行われた世界卓球ドイツ大会での日本選手の活躍はたいへんすばらしいものでした。混合ダブルス金メダルをはじめ女子シングルス銅メダル、男子ダブルス銀メダル・銅メダルを獲得しました。私は、メダルを取った選手はこれまで以上の力を発揮し、世界で戦える選手になったと思っていますが、最も楽しみにしていたのは中学生の張本智和選手(13)でした。張本選手は、男子シングルス準々決勝で惜しくも敗退しましたが、試合をしながら強くなっていくように思いました。これからもっと技を磨き強くなっていくと思います。

また、史上最年少で将棋のプロ棋士になった藤井聡太4段(14)の活躍です。6月10日の棋戦を終え、デビューから25連勝になりました。あと3連勝すれば歴代1位の記録に並びます。藤井棋士がどこまで連勝記録を伸ばすのか注目されていますが、言い換えれば彼の持っている強さがどこまで続くのか、通用するのかであります。これら以外にもフィギアスケートやサッカーなど10代で活躍している人がたくさんいます。

本校にも自己のもつ可能性への挑戦を続けている選手たちがいます。先月の春季総合体育大会で100m 走11秒89の県中学新記録〔全国中学女子歴代10位タイ〕を出した安達茉鈴さんです。12秒の壁をついに破りました。また、女子400mR で49秒を記録し1位になったメンバー(上田、木村、瀬山、安達)です。これまで何度も挑戦しながら、なかなかこえられなかった50秒の壁を破り全国レベルで戦えるチーム力をつけてきたことです。走り1秒縮めることはたいへんなのですが、それをやったのけました。

若いときは、失敗を恐れず、自分のもっている能力の可能性を信じて挑戦することが大切です。上述したような記録への挑戦もあれば、何かのきっかけで目覚めてくる能力もあるのではないかと思います。スポーツ的な能力、文学的な能力、芸術的な能力など多様な多才な能力をもっているかもしれません。これらの原動力は「やる気」なのですが、必要なのは「自分のもっている能力の可能性を信じる」こと、「やってみよう」という気持ち、「できるかもしれない」という気持ちであると思うのです。みなさんには、自分のもっている能力の可能性を信じて、いろんなことに挑戦して欲しいと思っています。

修学旅行（東京・伊豆高原） 絆～最高の思い出のせて～

5 / 31 ~ 6 / 2

5月31日から6月2日は、3年生が楽しみにしていた修学旅行でした。1日目は都内を班別に自主研修したあと、ディズニーランドで夜まで大いに楽しみました。2日目は、天気が心配されましたが、雨に降られることもなく、クラスごとにスカイツリーやフジテレビなどをコース別に研修した後、伊豆高原へ移動、ペンションに分宿しました。ペンションでは、オーナーさんの料理をおいしくいただき、クラスの仲間とともにペンションライフを満喫しました。3日目は伊豆高原での自然体験でしたが、あいにくの強風でパラグライダーが中止になり残念でした。しかし、シュノーケリングなど普段経験できない体験にみんな笑顔に包まれました。あっという間の3日間で、最高の思い出がいっぱいできました。



都内自主研
浅草寺雷門



夜まで楽しんだ
ディズニーランド



都内コース別研修
フジテレビ局前



スカイツリーへも
行きました



シュノーケリング



そば打ち体験

がんばる生徒会

5月29日(月) 5・6校時に生徒総会が開かれました。1年生を新たに迎え、「栗津愛～栗津を『あい』でいっぱい～」のスローガンが提案され、全校生徒で確認しました。その後、各委員会の活動方針や予算の提案が行われ、多くの質問や意見が出されました。

今年も活発な生徒会活動を繰り広げてくれるものと期待しています。



がんばる栗中生! ~交歓スポーツ大会~ 5/30

5月30日は、第40回滋賀県中学校交歓スポーツ大会が皇子山陸上競技場で開催され、本校からも4名の仲間が参加しました。4人とも自己ベストの記録をマークするなど、がんばりました。1日中好天にも恵まれ、熱戦が繰り広げられました。



2年生は職場体験学習へ 6/29~7/5

早くから準備を進めてきた職場体験学習ですが、14日には事前に職場を訪問して打ち合わせを行う予定で、いよいよ5日間の職場体験学習本番を迎えます。普段学校で学習することと違い、「働く」ということを実際に学ぶ学習です。将来は誰もが働くわけですからしっかりと取り組んでほしいと思います。ご家庭でもぜひ様子を聞いてあげてください。

今回受け入れにご協力いただきました事業所の皆様ありがとうございました。

快挙! 女子総合1位、男女総合2位 ~陸上天津市夏季総体~ 6/6

6月6日は、陸上の天津市夏季総体が行われ、男女総合2位、女子総合1位と好成績を収めました。個人でも多くの人が入賞しました。



入賞した皆さん、おめでとうございます。今回の経験を来月の通信陸上や県夏季大会に生かし、近畿・全国大会をめざしてほしいものです。

夏季市総体 入賞記録(3位以内)を紹介します

男女総合第2位(148点) 女子総合第1位(87点)

第1位	男子400m	佐藤凌太	51"74
第2位	男子800m	中村匠吾	2'13"50
第2位	男子走高跳	小林郁巳	1m60
第2位	男子走幅跳	村井孝太郎	5m58
第3位	男子1年100m	富田悠斗	12"73
第3位	男子2年100m	横山大空	11"82
第3位	男子23年1500m	井上陽介	4'45"50
第3位	男子4X100m	(村井、佐藤、井上、貝川)	46"48
第3位	男子低4X100m	(横山、富田、藤原、長谷)	49"66
第1位	女子3年100m	安達茉鈴	12"18(大会新)
第1位	女子100m H	瀬山結菜	15"03
第1位	女子200m	上田 陽	26"65
第1位	女子4X100m	(上田、木村、瀬山、安達)	49"26
第1位	女子低4X100m	(田中、富澤、中島、佐藤)	53"68
第3位	女子3年100m	木村智乃	13"12
第3位	女子2年100m	佐藤和奏	13"44
第3位	女子走高跳	床呂祐佳	1m25
第3位	女子四種	久米美陽	1576点

第1回校内研究会 6/6

本校では、12年前から「学び合い」の授業に取り組んできました。毎年研究会を実施しながら授業改善に努めています。今年も6月6日、「魅力ある教育実践の挑戦ー『対話』と『協同の学び』を軸にした学校づくりー」を研究テーマに、第1回の校内研究会を実施しました。2～5校時の公開授業の後、6校時には2年5組での研究授業を行いました。多くの先生が参観する中、真剣な表情で課題に向き合う皆さんの姿に感心しました。



このような取り組みは、学期に1回ずつ実施する予定です。2学期、3学期にはさらに成長した栗中生の姿に期待しています。